

2017年8月4日

## 協和発酵バイオの植物生長調整剤事業の買収について

住友化学は、このたび、協和発酵バイオ株式会社（以下、「協和発酵バイオ」）の植物生長調整剤事業を譲り受けることについて、同社と合意しました。

植物生長調整剤は、果実を大きくしたり開花を促進するなど、作物の生長や発育を増進または抑制することで品質や収量の改善に貢献する農薬で、日本を含め世界的に広く使用されています。

協和発酵バイオは1958年に「ジベレリン協和錠剤」を発売して以降、国内の植物生長調整剤のパイオニアとして、長年にわたり事業を展開してきました。ナシやブドウの果実肥大、ブドウの無種子化などの効果を発揮する、ジベレリン製剤「ジベレリン協和」やホルクロルフェニユロン製剤「フルメット」を販売しています。

住友化学は、世界の農薬企業で大規模な統合や再編が進む中、新たな農薬の開発力、バイオリショナル<sup>※</sup>などのユニークな事業、グローバルな販売網や大手メーカーとの提携関係を強みに事業を拡大しています。中でも、高い市場成長率が見込まれるバイオリショナルなどのスペシャリティ分野では、近年、M&Aや研究開発機能の充実などを積極的に進めてきました。今回、協和発酵バイオの高品質な製品や優れた知見、国内の植物生長調整剤市場におけるブランド力と、これまで当社グループが培ってきた技術やノウハウを融合させることで、こうした分野をさらに強化します。

住友化学は、今回の植物生長調整剤事業の買収によって、国内外の製品ポートフォリオをさらに拡充し、農作物の生産性向上により一層貢献してまいります。

※住友化学グループでは、天然物由来などの微生物農薬、植物生長調整剤、微生物農業資材等や、それらを用いて作物を病害虫から保護したり、作物の品質や収量を向上させたりするソリューションを「バイオリショナル」と定義しています。

### <協和発酵バイオの概要>

社 名 協和発酵バイオ株式会社

設 立 2008年10月1日

資 本 金 100億円（協和発酵キリン株式会社100%子会社）

売 上 高 836億円（2016年12月期/連結）

代 表 者 代表取締役社長 小谷 近之

事業内容 医薬品原料、各種アミノ酸、健康食品、植物生長調整剤の製造・販売

以上